

<週報No. 2,849> 2,960 回例会

2018年7月27日(金)

◆会長/古屋 了 ◆幹事/加藤 明博

◆司会=伊藤武利 SAA

◆ゲストビジター=本日はいらっしゃいません。

◆出席報告

本 日	62.79%	18名欠席
前 回	82.22%	8名欠席

◆ラッキーナンバー=No.2 小林恭一君

◆ニコニコボックス ●東本清文君、秋山晶子君、山本 實君=本日は出席委員会の例会です。皆様よろしくお祈りします。●古屋了君、加藤明博君=本日は出席委員会の皆様よろしくお祈りします。●石田孝一君=入会させて頂きありがとうございます。●小口武男君=ガバナー補佐打ち合わせが早くも8月5日からスタートします。来年度からの協力をよろしくお祈りします。●小口武男君=誕生日として。●小林恭一君=ラッキーナンバーに当たって。

◆会長告知・古屋 了会長=この夏の会長告知では、私になぜ結婚式の仕事に関わっているのかについてお話しして参りたいと思います。我田引水かもしれません職業奉仕の観点からお聞きください。

5月のある日。これから結婚式という時刻。チャペルの入り口で、5才くらいの男の子をギュッと抱きしめた若いお母様の表情が気になりました。声をかけてみると、男の子には発達障害のような個性がありそうです。このご家族は茨城県からお見えとのこと。そのお疲れもあるのでしょうか。お母様には笑顔が見えません。私にはこの親子の日常が浮かびました。「よし、我々が男の子を預かって、お母さんには結婚式へ参列していただく」と判断をし、了解を得ました。

挙式中、男の子はガーデンをごきげんで駆け回り、お母さんはチャペルで参列。披露宴でもご家族には会食を楽しんでいただき、男の子はガーデンでシャボン玉に興じています。そのうち従兄弟のお子様たちも加わって大シャボン玉大会となりました。そこで社員がガーデンのテーブルにその子のお子様ランチのセットをしてくれたのです。はじめは見向きもしませんでしたけれど、気がつくとも椅子によじ登って料理を手づか

みで食べているではありませんか。それを見に来たご両親は「自分で食べてる」とビックリ、そのうちお腹いっぱいになった男の子はお母様に抱かれてグッスリ。お母様も社員が気を利かせて運んだデザートを召し上がって満足げにお帰りになりました。後日、思いがけずそのお母様からいただいたお礼状です。

「先日は息子が大変お世話になりました。家族で出席する初めての式で、息子を連れて行くことが楽しみでもあり、不安でもありました。普段の様子から、騒いだ時には息子と一緒に外に出て、遠くから会場を見ていようと決めていた私が、式に参加できたのはご配慮のおかげです。息子がすごく楽しそうに笑っていたばかりか、ちゃんと座ってディナーをしている姿を見て感動しました。

私は昔から結婚式に興味がなく、私たち夫婦も式は挙げませんでした。でも今回、笑いあり涙ありの式に参加させて頂いて、結婚式って出席したみんなが幸せな気持ちになれるとってもステキなことなんだと思いました。スタッフさん全員が、とてもすてきな笑顔で優しく元気に働いている姿を見て、結婚式はふたりだけでなく、スタッフさんと一緒に作りあげることで、あんなにステキになるんですね。

皆さんに出会えたことで、結婚式に対する見方だけでなく、子供に対する気持ちが変わりました。これからは全てダメと言わずに、のびのびと元気に成長できるよう息子を見守っていきます。

息子といっぱい遊んでくれたり、ケーキをテーブルまで届けてくれたり、本当に有難うございました。心より感謝しています。皆様のご活躍を心より願っています。これからはいろいろな人に幸せな時間を届けてあげてください。」本日は以上です。

◆幹事報告・加藤明博幹事=①本日のクラブ協議会は出席委員会の皆様による皆勤表彰です。宜しくお祈りします。②先週西日本豪雨による義援金について募金ザルを回した所、34,000円集まりました。当クラブの会員ではありませんが、いつも例会の時に接客している当社中村峰子さんからも募金を頂戴しました。有難う御座いました。振り込みをさせていただきます。③8月3日は夜間例会です。会場は布半3階「やわらぎ」18時受付、18時30開演です。会員の皆さんは是非浴衣でご出席下さい。又宴席後には布半の屋上を解放しますので花火をご観覧下さい。④ガバナー補佐任命書を小口武男会員に、古屋

会長より渡して頂きます。⑤先週皆さんにお諮りした新会員予定者、長野日報編集局長宮坂さんですが、異議の申し立てがなかったので、入会の手続きに入ります。⑥国際ロータリー第 2600 地区事務所より、ロータリー補助金 161,260 円の振り込みが有りました。私と、朝倉会員、山田会員の 3 名で、今月 29 日に補助金の説明会に行ってきます。

◆ガバナー補佐任命書授与

=小口武男会員

◆クラブ協議会・出席委員会 東本清文委員長

=本日

は昨年度の皆勤賞表彰をさせていただきます。それでは、昨年度の結果を発表させていただきます。皆勤賞は 24 名、昨年度 32 名で 8 名減、例会当日の平均出席率は 72.6%で、昨年度 69%から増えています。メイクアップ後の平均出席率は昨年 91%と高かったのですが、今回は 88.6%ということで若干下がりました。振り返りますと、当日の出席率が昨年より上がったことは良かったことだと思います。



席率は昨年 91%と高かったのですが、今回は 88.6%ということで若干下がりました。振り返りますと、当日の出席率が昨年より上がったことは良かったことだと思います。

たことは良かったことだと思います。

今年度の出席率向上という観点からデータを掘り下げてみました。そうしたところ、バスハイク、お花見例会、ゴルフ例会など当日の出席率が低い傾向にありました。クラブ計画書の中に年間計画が入っていますので、時間、曜日など制約のあるものについては、事前にお分かりだと思いますので、極力優先順位を上げて頂いて当日の出席率を上げて頂きたいと思います。

また、今年の例会は 41 回と昨年より若干増えています。昨年と同様になりますが、出席のお願い FAX を送らせて頂くとともに、山本副委員長はじめ出席委員会のメンバーで、皆さんを一回一回お迎えしたいと思っておりますので、是非出席率向上に皆様のご協力をお願いしたいと思います。

- 1 年目＝加藤明博君、小針哲郎君●2 年目＝山田文雄君、飯田兼光君●3 年目＝小口泰幸君、宮坂美保子君
- 4 年目＝早出由男君、伴在賢時郎君●5 年目＝北川和彦君、川村総一郎君●8 年目＝伊藤武利君●9 年目＝古屋了君●13 年目＝小口武男君、玉本広人君、八幡一成君●16 年目＝平林明君●22 年目＝朝倉英仁君、河西正一君●23 年目＝折井俊美君●27 年目＝山崎晃君●31

年目＝増澤洋太郎君●34 年目＝森 幸俊君●35 年目＝小林恭一君 ●37 年目＝有賀昭彦君

例会出席について・三井章義会員＝私がロータリークラブに入れて頂いた 50 年前は、ホームクラブの例会に主席するように強く要請されておりました。当時は 100%出席を目指し、各クラブが地区内で競争をするという状況にありましたので、クラブの名誉にかけても例会を休まないようにしようと 100%競争が行われていました。

クラブの表彰は 1922 年の国際ロータリーの大会で、各クラブは自分のクラブと同じくらいの人数のクラブと出席競争をしようと、A・B・C・D・E・F・G まで 7 段階に分けて世界的にやっていた歴史があります。1922 年というと、日本にロータリーができたのが 1920 年ですから、その 2 年後から出席ということがやかましく言われていたと思います。出席することはロータリークラブができた当時からかなり重要なことだと考えられておりました。



現在、私は新入会員の方に説明に行くときに、ロータリーには三つの義務があるとお話しします。一つは例会に出席すること、二つ目は会費を納めなければならない三つ目は公式機関紙を読めということですが、この三つの義務の中で自分たちが直接的にやらなければならないことは出席ということになります。出席の意義とはいろいろな考え方がありますが、私が考える本当の姿とは「Be a Friend」です。そういう意味で会員同士が毎週集まって、一回でも多く皆さんと顔を合わせることで親睦が深まっていく、それが最終的にはロータリーの奉仕の精神につながっていくという考え方ですし、もっと言えば、例会に出ることによって自己を高められるという考えもあります。大変意義のある例会出席、どうか皆さんも出席をして頂きたいと思います。

現在、私は新入会員の方に説明に行くときに、ロータリーには三つの義務があるとお話しします。一つは例会に出席すること、二つ目は会費を納めなければならない三つ目は公式機関紙を読めということですが、この三つの義務の中で自分たちが直接的にやらなければならないことは出席ということになります。出席の意義とはいろいろな考え方がありますが、私が考える本当の姿とは「Be a Friend」です。そういう意味で会員同士が毎週集まって、一回でも多く皆さんと顔を合わせることで親睦が深まっていく、それが最終的にはロータリーの奉仕の精神につながっていくという考え方ですし、もっと言えば、例会に出ることによって自己を高められるという考えもあります。大変意義のある例会出席、どうか皆さんも出席をして頂きたいと思います。

◆今後の例会日程

8月3日	金	納涼家族例会
8月10日	金	準法定休日
8月17日	金	クラブフォーラム（会員増強月間）
8月24日	金	クラブ協議会（ガバナー補佐事前訪問）
8月31日	金	クラブ協議会（前年度決算報告）

執筆担当：飯田兼光